

# ふくしま オーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No. 元-1 令和元年6月24日

福島県農業総合センター

有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉

字下中道 116 番地

TEL: 024(958) 1711

FAX: 024(958) 1730



## 有機農業推進担当職員が新しくなりました

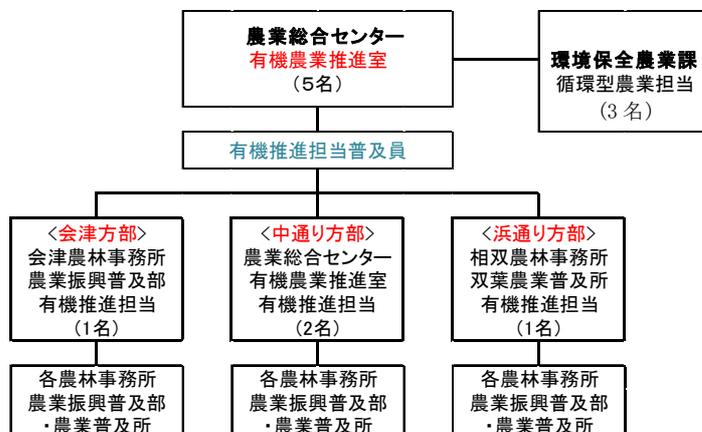
農業総合センター 有機農業推進室

令和元年度の新たな有機農業推進体制をお知らせします。どうぞよろしくお願ひします。

所属	職名	氏名	役割
有機農業推進室	(新) 室長	荒井 義光	総括
	主任主査	穴澤 崇	中通り普及 (作物)
	主任研究員	根本 和俊	試験研究
	(新) 副主査	齋藤 成一郎	中通り普及 (野菜)
	専門員	横井 直人	有機畑地力増進・研修対応
会津農林事務所	主任主査	星 輝幸	会津普及
相双農林事務所	主任主査	大野 光	浜通り普及
環境保全農業課	主任主査	岩沢 正浩	資源循環型農業担当主任
	主査	芳賀 紀之	有機栽培、特別栽培
	副主査	本田 綾	エコファーマー



職員一同です。よろしくお願ひします。



## 現地技術実証ほを県内に4ヶ所設置しました

農業総合センター 有機農業推進室

各地域の実態を踏まえた有機農業に関する応用的技術の実証と確立を展開するため、現地技術実証ほを県内に4ヶ所設置しました。

【令和元年度 現地技術実証ほ一覧】※敬称略

市町村	生産者名	品目	実証ほ内容
二本松市	柳瀬 聡一郎	野菜	シルバーマルチを使用した、露地キュウリ栽培におけるウリハムシの発生抑制効果の実証
泉崎村	社会福祉法人 こころん	水稻	冬期間の水田乾燥化と早期2回代かきを組み合わせた雑草抑制技術の実証
会津若松市	大竹 久雄	水稻	乗用型水田除草機と酒粕米ぬかペレットを組み合わせた除草・抑草効果の実証
南相馬市	羽根田 薫	水稻	収穫後の反転耕と有機物施用及び機械除草を組み合わせた除草効果の安定性実証

### 現地技術実証ほ紹介①

シルバーマルチを使用した、露地キュウリ栽培におけるウリハムシの発生抑制効果の実証

農業総合センター 有機農業推進室

二本松市内でキュウリを有機栽培している生産者のほ場では、今年の7月～8月にかけてウリハムシが大量に発生し、葉が食害されました。ウリハムシは、ウリ科果菜類にとって難防除害虫の一種であり、化学的防除ができない有機栽培では、防除技術の確立が求められています。このため、露地キュウリ栽培ほ場でのウリハムシによる被害軽減効果を実証することを目的として、実証ほを設置しました。

ほ場にシルバーマルチと黒マルチを貼った区を設置し、ウリハムシによる葉の加害数等を調査し、防除効果の実証を行います。



実証ほのシルバーマルチ設置区 (R元. 6. 6)



ウリハムシによる食害葉 (R元. 6. 10)

## 現地技術実証ほ紹介②

冬期間の水田乾燥化と早期 2 回代かきを組み合わせた雑草抑制技術の実証

農業総合センター 有機農業推進室

中通り地方で水田雑草の発生を抑制する技術として取り組まれている「冬期間の水田ほ場乾燥」の現地実証を平成 29 年度と 30 年度の 2 年間実施しました。その結果、水田雑草「コナギの発生」に対しては“抑制的”に、「ノビエの発生」に対しては“促進的”に働くことを確認しました。

一方、現地実証ほ場では、平成 28 年度まで行っていた慣行栽培（除草剤使用）でも多発生していた「クログワイ」が年々増殖し、水稻生育後半には養分競合など悪影響を及ぼすようになりました。

本年度は、平成 30 年度に発生の多かった「ノビエ」と「クログワイ」対策のため、「冬期間の水田乾燥化」に加えて「早期代かき（2 回代かき）」と「機械除草」を組み合わせた体系的な防除技術の実証を行います。



プラウ及びプラソイラによる  
土壌の凍結乾燥 (H31. 1. 30)



代かき (5/7 実施) 後 16 日目に  
ノビエが大量発生 (R 元. 5. 23)



代かき (5/28 実施) 後の  
田植え (R 元. 5. 30)

## 現地技術実証ほ紹介③

乗用型水田除草機と酒粕米ぬかペレットを組み合わせた除草・抑草効果の実証

会津農林事務所 農業振興普及部

会津地域の水稲有機栽培は、積雪等により除草、抑草効果が期待される冬期間のほ場の乾燥が難しいといった課題があります。

そのため、会津地域の水稲有機栽培者で取り組んでいる乗用管理機と、酒粕米ぬかペレット(※)を組み合わせた除草・抑草の方法、効果を明らかにするため、実証ほを喜多方熱塩加納町の大竹久雄氏ほ場に設置しました。

※酒粕米ぬかペレット：米ぬかに酒粕を 20 % 混合して水分を調整し、ペレット化したもの。



乗用型水田除草機による除草作業  
(R 元. 5. 30)

## 現地技術実証ほ紹介④

収穫後の反転耕と有機物施用及び機械除草を組み合わせた除草効果の安定性実証

相双農林事務所 双葉農業普及所

双葉農業普及所では、水稲有機栽培の除草対策に関する実証ほを南相馬市に設置しています。今年で3年目となりますが、新たな取組として、前年の収穫後に反転耕を実施したほ場で、オモダカの塊茎埋没や冬期のほ場乾燥による雑草低減効果を調査しています。

また、屑大豆散布と機械除草の組合せ処理による除草効果の安定性を昨年と同じく実証することとしています。



反転耕を実施したほ場 (H31. 1. 9)



除草作業の実施 (R元. 6. 5)

## 「低投入持続型水田（水稲）の試験研究」

乗用型水田除草機「ウィードマン」が農業総合センターに新たに配備されました！

農業総合センター 有機農業推進室

この除草機は、「環境にやさしい農業推進事業」を活用して県内の有機農業者にも導入が進んでいます。作業部が前方にあり、条間除草に加えて株間も回転式レーキで行うなどの特徴を備えています。有機農業推進室では5月23日に水稲有機栽培試験田の田植えを行い、6月3日、6月13日の2回、本機を用いて除草を行いました。本年は、試験田に稲わらのみを投入し、冬期間の水田乾燥化による抑草と機械除草を組み合わせることで安定した収量を確保する技術の実証を進めています。また、センター本部以外でもこの除草機の現地実証を浜通り（南相馬市小高区、富岡町）と会津地方（磐梯町）で行いました。



ウィードマンによる除草実施 (R元. 6. 13)



機械除草によって浮いた雑草 (R元. 6. 20)

《お知らせ》令和元年度 環境にやさしい農業拡大推進事業について

環境保全農業課

県では、有機 J A S 認証の取得や生産安定と生産量の拡大に必要な施設、機械の導入を支援するため、下記の事業を実施しております。

○有機 J A S 認証拡大支援

有機 J A S 認証の新規又は認証継続の費用を支援します。

新規及び継続の認証取得を希望する方に、新規取得費用の 3 / 4 以内、認証継続費用の 1 / 2 以内で補助します。

平成 30 年度実績：23 件

○環境にやさしい農産物供給体制の整備

有機農産物の生産規模の拡大や出荷の安定化に向け、共同で利用する施設・機械の導入経費を支援します。

施設・機械は、農業者 2 戸以上で構成する組織等で共同利用するもので、導入経費の 1 / 2 以内で補助します。

平成 30 年度実績：8 件

詳細については、下記の農林事務所へお問い合わせください。

●問い合わせ先

県北農林事務所：024 - 521 - 2604

県中農林事務所：024 - 935 - 1308

県南農林事務所：0248 - 23 - 1556

会津農林事務所：0242 - 29 - 5302

南会津農林事務所：0241 - 62 - 5253

相双農林事務所：0244 - 26 - 1147

いわき農林事務所：0246 - 24 - 6160

農業総合センター有機農業推進室：024 - 958 - 1711

農林水産部環境保全農業課：024 - 521 - 7453

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/youki-keikaku-04.html>



《お知らせ》「オーガニックふくしまマルシェ」の開催のお知らせと  
商談会への出展者募集について

環境保全農業課

県では、付加価値の高い県産有機農産物の利用促進や消費拡大を図るため、「オーガニックふくしまマルシェ」を開催します。

現在、販売拡大を目指す事業者（有機農産物等生産者）を募集しております。

出展希望の事業者の方は、HP をご覧の上、ご応募願います。

○イベント概要

(日時) 令和元年 9 月 18 日 (水) 10 時から 16 時

(場所) ビッグパレットふくしま 多目的展示ホール A

(内容) 商談会、マルシェ、セミナー、パネルディスカッション、有機農産物を利用したメニューの提案・試食等

○出展募集内容

(募集対象) 県内の有機 JAS 認定事業者 (同等栽培含む)、特別栽培等実践者で、販路開拓・拡大を目指す事業者、組織

(参加予定バイヤー) 県内外の飲食・加工・宿泊業者等

(出 展 料) 無料 ※10 ブース程度

(出展詳細) 詳しくはHPをご覧ください。

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/fukushimamarusile.html>



●問い合わせ先 環境保全農業課 024-521-7453

## イベント情報

### ○第14回 農業総合センターまつり

本部会場【9月6日(金) 9:30~16:00、9月7日(土) 9:30~15:00】

果樹試験場【9月20日(金) 9:30~16:00】

皆さんお待ちかね!!センターまつり(本部会場)は、9月6日(金)、7日(土)に開催いたします!

本部会場では、親子でのトマト収穫体験やお子様楽しめる広場の設置をはじめ、今注目されているスマート農業技術の実演や、家庭菜園向けの野菜・花・果物・土づくりセミナー等の企画が満載です。また、県内生産者や生産団体に向けて、農産物等の出展も募集しておりますので、奮ってご参加ください。

詳しい内容は、農業総合センターホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

農業総合センター

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200a/ivent-news.html>



昨年度のトマト収穫体験 (H30.9.7)



有機栽培ほ場での説明会 (H30.9.7)

### ○オーガニック通信の送付について

ふくしまオーガニック通信では、県内における最先端の有機農業に関する技術や、魅力あふれるイベント等の情報について、県民の皆様にご提供しております。

送付先住所や代表者氏名等に変更があった場合は、お手数ですがご連絡ください。

■農業総合センター 有機農業推進室 担当：齋藤■

TEL: 024-958-1711

FAX: 024-958-1730

Mail: [yuuki\\_otasuke\\_soudan@pref.fukushima.lg.jp](mailto:yuuki_otasuke_soudan@pref.fukushima.lg.jp)